

歩くサッカーで“健康”と“観光” 元気なまちづくり

Health and tourism through walking soccer - creating a vibrant town

スポーツ 社会課題 インクルーシブ ユニバーサルデザイン
ウェルネスツーリズム ヘルスリテラシー 心を動かす感動！

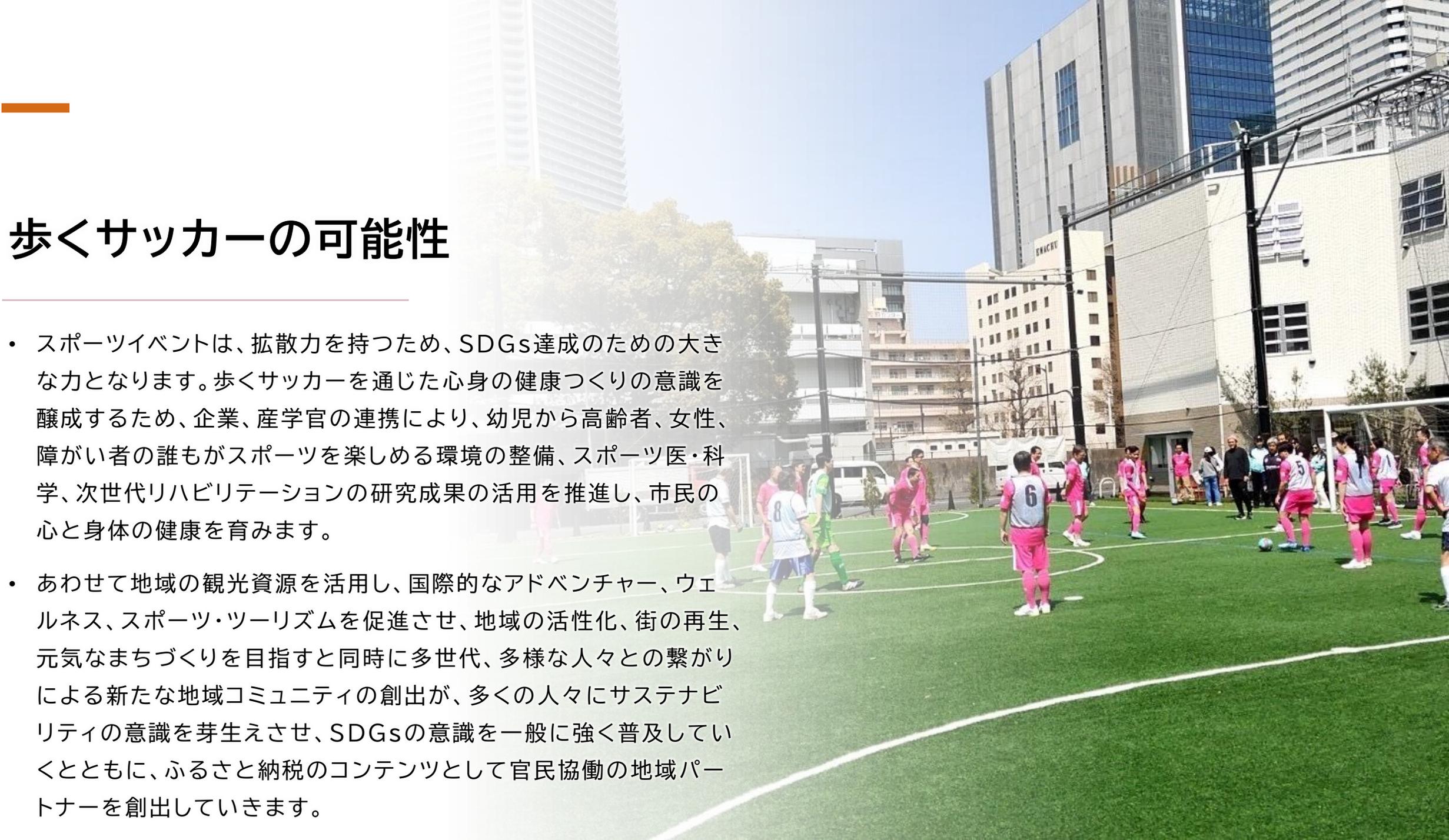


JWFA
JAPAN WALKING FOOTBALL ASSOCIATION

一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会

歩くサッカーの可能性

- スポーツイベントは、拡散力を持つため、SDGs達成のための大きな力となります。歩くサッカーを通じた心身の健康づくりの意識を醸成するため、企業、産学官の連携により、幼児から高齢者、女性、障がい者の誰もがスポーツを楽しめる環境の整備、スポーツ医・科学、次世代リハビリテーションの研究成果の活用を推進し、市民の心と身体の健康を育みます。
- あわせて地域の観光資源を活用し、国際的なアドベンチャー、ウェルネス、スポーツ・ツーリズムを促進させ、地域の活性化、街の再生、元気なまちづくりを目指すと同時に多世代、多様な人々との繋がりによる新たな地域コミュニティの創出が、多くの人々にサステナビリティの意識を芽生えさせ、SDGsの意識を一般に強く普及していくとともに、ふるさと納税のコンテンツとして官民協働の地域パートナーを創出していきます。



SDGsと歩くサッカー

“元気なまちづくり” creating a vibrant town



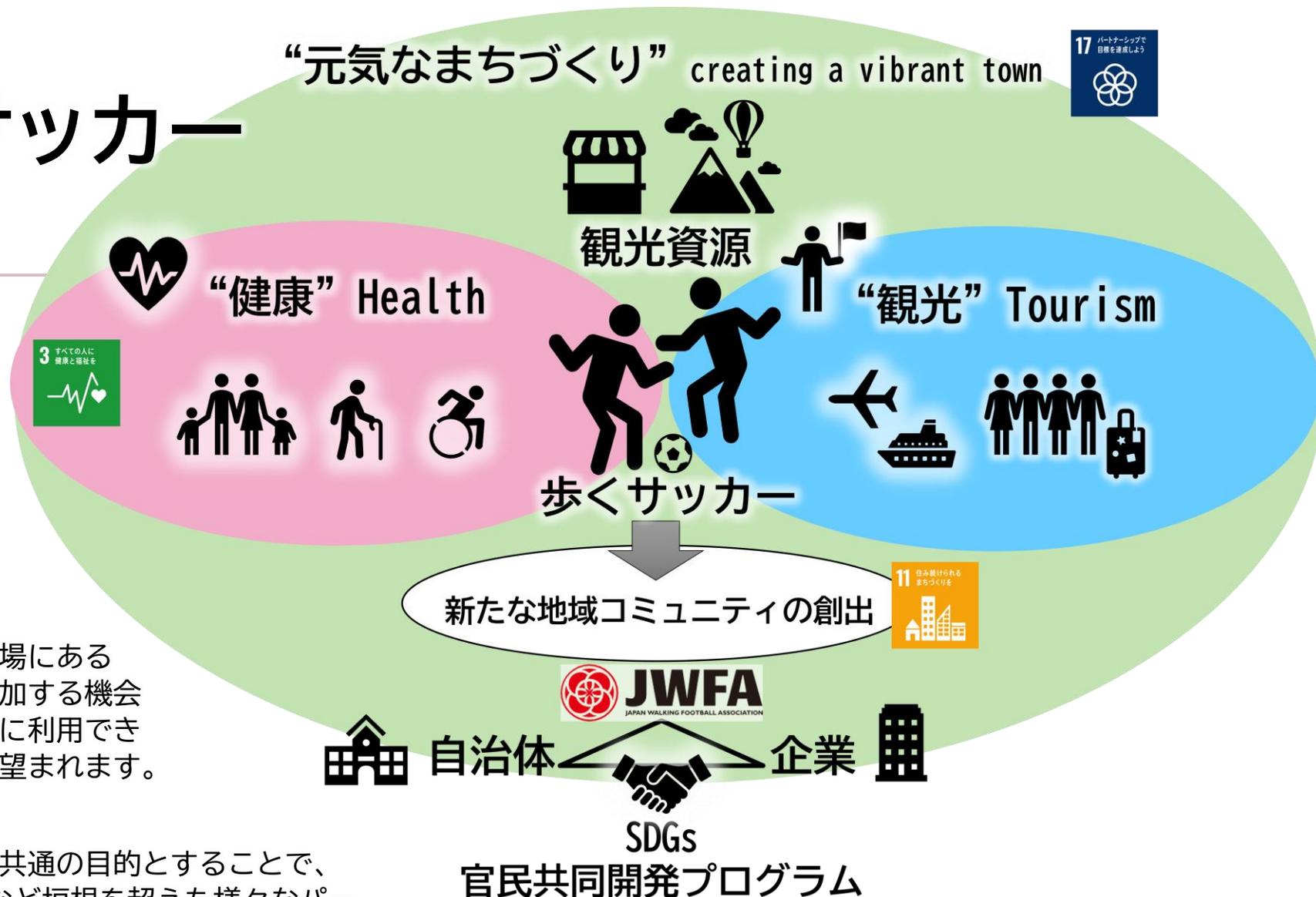
スポーツを通して健康的な肉体や精神が育まれます。病気にかかりにくい体づくり、健康・性に対する問題への教育ツールとしてスポーツは役立ちます。



スポーツを通して、社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとりが参加する機会をもつことができます。誰でも気軽に利用できるスポーツ施設やサービスの充実が望まれます。



スポーツを持続可能な開発のための共通の目的とすることで、その目的のために官民や企業、NGOなど垣根を超えた様々なパートナー、ステークホルダーとの連携とつながりを持つことができます。





JWFAの歩くサッカーとは・・・

- JWFA協会では、ダイバーシティ&インクルージョンの象徴として歩くサッカーを質の高い教育、多世代の心の学びとしてヘルスケアプログラミングメソッドを提供しています。
- 一般的なサッカーの競技という視点だけでなく、「スロー理論」に基づいた誰もが安心、安全に身体の微細な動きを通じて、心地よく脳や心に働きかけ、脳の活性化、身体機能の成長、改善、予防医療、自己の身体や精神状態を把握することで、意識的に自律神経をコントロールし自己治癒力を高めます、この画期的なメソッドの効果は、教育福祉、心理治療、インクルージョン、メンタルヘルス向上、働き方改革、健康経営等、幅広い分野で評価されており、国内外から注目をされています。

グローバルコミュニティの構築

- 歩くサッカーは、海外で既に普及されており、JWFAでは、グローバルコミュニティの構築を目指しています。
- 諸外国とのウォーキングフットボールを通じた文化交流ツアーや健康とウェルネスの国際的な促進を目的とする WalkingFootball4Health globalとの連携した国際的な活動を行うなど、
- 今後は、WaF4HをはじめとするJWFAのグローバルなコミュニティと各自治体の観光資源と合わせた国際的なアドベンチャー、ウェルネス、スポーツツーリズムを推進させていく予定です。



歩くサッカーを通じた国際文化交流ツアー



- 2020年には、WALKING FOOTBALL BRISBANE INC.(以下「WFB Inc」)を招き、『歩くサッカーで美しい日本の地域を巡る旅』(詳細は次頁参照)を実施する予定でしたが、COVID-19の影響で中止を余儀なくされてしまいました。WFB Incからは、「このウォーキングフットボール文化交流旅行をいつか復活することを楽しみにしています」とメッセージをいただいております、今後、必ず実現したいと考えています。
- 2024年4月に、ようやく、香港のチームとの国際親善マッチが組まれるなど、少しずつ、歩くサッカーを通じた文化交流のツアーができるようになっていきます。



2020 JWFAスポーツ&ウェルネスツーリズム推進プロジェクト

WALKING FOOTBALL BRISBANE INC. (オーストラリア・ブリスベン) を招き、2020年に実施する予定であった歩くサッカーを通じた文化交流ツアーのプログラムは以下の通りとなっています。



WALKING FOOTBALL INTERNATIONAL FRIENDSHIP JAPAN TOUR

Walking Football Brisbane & Japan Walking Football association

『歩くサッカーで美しい日本の地域を巡る旅』

日時：2020年5月10日～20日

ツアー行程：10日間（バス貸切45名✕2台 ツアー参加予定人数 80～90名）

成田空港到着～ 松戸市ホテル泊

以降、千葉県松戸市、長野県伊那市・安曇野市・松本市・長野市、新潟県新潟市
埼玉県本庄市、東京都中央区を巡る。

会場及びホストタウン・協力共催団体（進展候補も含む）

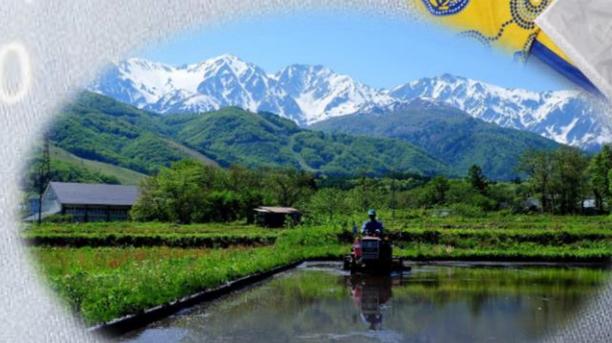
千葉県：松戸市地域スポーツ振興、教育庁、歩くらぶウイズ、株式会社大地、
松戸市運動公園陸上競技場、柏レイソル・ジェフ市原千葉

長野県：伊那市、安曇野市、松本市、長野市、中川村・安曇野クラブ

新潟県：新潟市、長岡市、新潟スポーツコミュニケーション、株式会社タニタ、JA新潟

埼玉県：本庄市役所、本庄サッカークラブ、地域企業

東京都：中央区役所、台東区、社会福祉協議会。トウキョウタワーズ、ミーファ豊洲、浅草商店街



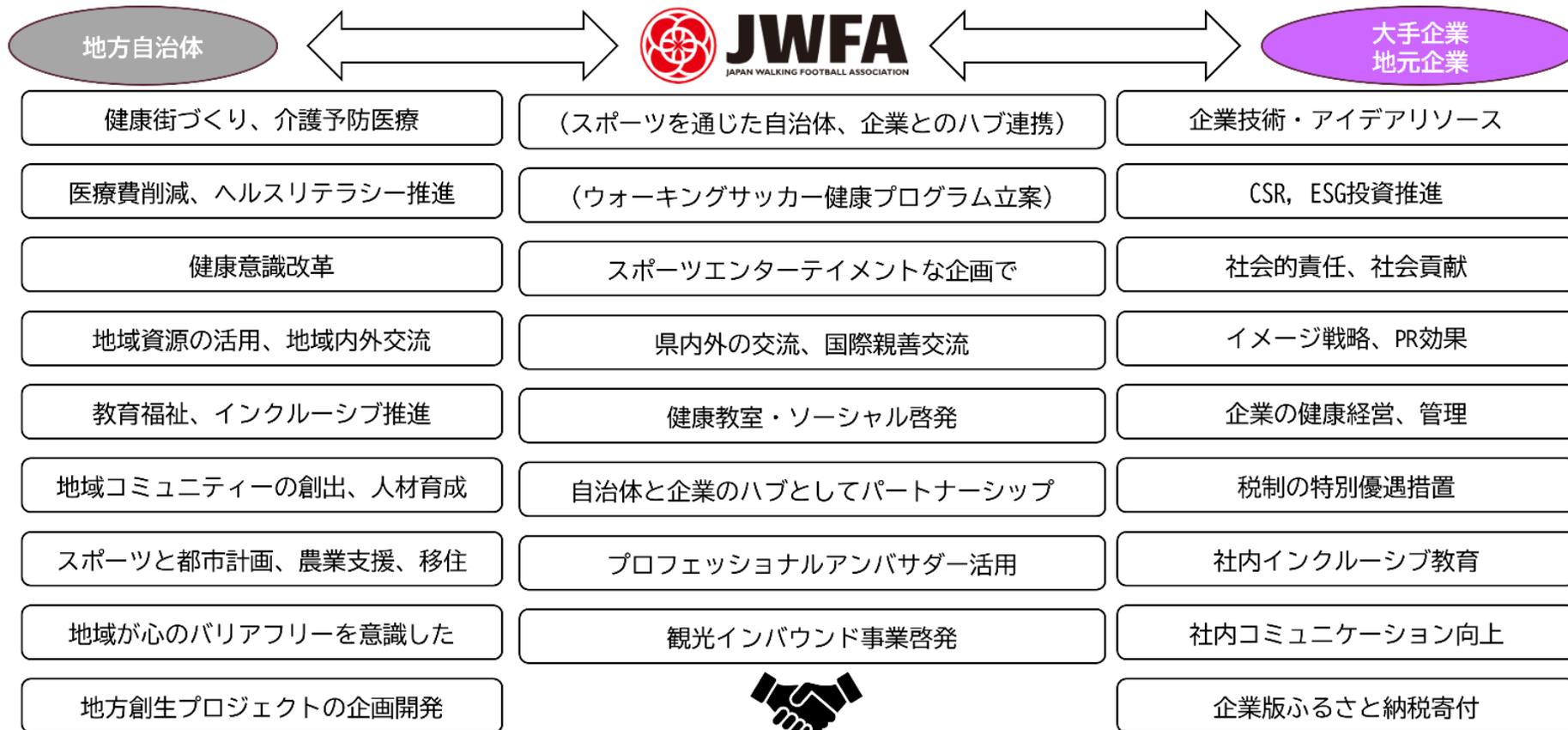
国際的な組織 (WalkingFootball4Health global) との連携

- WalkingFootball4Health global(以下「WaF4H」)は、国際的な運動生理学者であるディー・ディー・マフムード博士により、歩くサッカーを通じて健康とウェルネスの国際的な促進を目的として、2016年にシンガポールで設立されました。歩くサッカーを単なる運動ではなく、包括性を育み、あらゆる分野で健康とフィットネスを促進することを目的とし、個人やコミュニティにもたらす変革の力に焦点を当て、年齢、性別、言語、宗教に関係なく、参加者は身体的、精神的、社会的幸福を高める手段として、社会的交流を通じた積極性、調和、包括性を提唱しています。スポーツという世界共通語を通じて、つながり、意見交換、教育への関与を促進することで、より健全で結束力のあるグローバルコミュニティの構築を目指しています。
- WaF4Hにおいて、JWFAが提供する「スロー理論」に基づいた歩くサッカーのプログラムが高く評価されており、現在は、WaF4Hと連携して国際的な活動を行っています。



自治体と企業、街を繋ぐユニバーサルスポーツを通じた 企業版ふるさと納税 パートナーシップ推進

- JWFAは、自治体と企業のハブとなり、歩くサッカーを通じ、健康と観光をスポーツエンターテイメントな企画で、市民の健康意識改革、国際親善交流を促進し、健康的なまちづくりを推進します。



歩くサッカーで、笑顔と健康を!!

ご清聴ありがとうございました。



「家紋と繋がり」・・・ JWFAのロゴに込めた思い

日本伝統の家紋（武士）心の美しさの❀をリスペクトしています。背中の模様は「吉原繋ぎ」人と人との関係を豊かにする良い縁を繋ぐという意味も込められ、ご先祖様がはるか昔の時代から継承する日本人のアイデンティティーを繋ぎ、思いを胸に世界を目指すこと、その精神に恥じない人でありたいと思います。